

今年の運勢をみてみましょう！



〈「経営の真理と実践」春季編
第2章 起業より〉

令和8年1月1日

陰陽思想講座

■2. When いつ 設立時期

会社をいつ設立するか？は大変迷うところです。

設立時期は、それぞれの考え方や巡り合わせなどで決まることが多く、一概に正しい時期がある、とは言えないものです。

- ・ 学生時代に設立 自分を試そうとする人
- ・ 早く独立したい一心で脱サラ 起業する人
- ・ しっかり経験を積んでから慎重に設立する人
- ・ 環境変化により、自然に経営者になってしまった人
- ・ 停年退職から一念発起して設立する人 など実に様々です。

私は 25 歳で当時の脱サラブームに乗って会社を辞め、独立しましたが、そのことが正しかったのか、間違っていたのか、どちらとも言えません。

- ・ もっと経験を積んでから独立した方が良かったのでは？
- ・ サラリーマンとしてのんびり暮らしたらどうなっていたのだろうか？
- ・ 若くして独立したことにより、多くの人生体験を積むことが出来てよかった

などと考えたりします。

本書では、その一つの判断基準として、「九星学」から「運勢」と言うものを取り上げます。参考にして下さい。



設立時期と方位

私は 26 歳より 52 歳まで建設業を営んでおりました。(夏季編第 3 章で詳述)
リフォーム、建設、不動産 3 社により、地域オンリーワン、ナンバーワンを目指していました。

家造り、店舗、事務所など建築に関わる様々な疑問についても研究してきました。

その中で、必ず相談を受けるのが、建築時期でした。いつ建築したら良いか？場所はどこが良いか？などです。

これには、明確な答えは出来ないまでも、家相、事業相など九星学に答えを求めました。

その時から、ずっと勉強してきた九星学により設立時期、場所、方位などについて説明します。次頁を参考にして下さい。

■宇宙のバイオリズムを活用する

不思議なことに、41～42 歳にかけて災難に遭う方が多く、自然に『厄年』という言葉が出て来ます。では、一体『厄年』とは何を指して『厄年』と呼ぶのでしょうか？そもそも本当に存在するのでしょうか？

自然界全てには、**好不調の波が一定のリズムを持って繰り返し起こる変化＝バイオリズム**があると言われます。

私たちの地球は太陽系惑星の中にあり、「水星・金星・火星・木星・土星・月」などと一緒に、それぞれ、独自の自転、公転により、バランス良く回っています。ここに「重力・引力」が働いていることは、皆さんもご存知のことと思います。この「重力・引力」に私たちの運勢も影響を受けているという考え方がバイオリズムであり、『九星学』が生まれました。

それぞれの動き方は次のとおりです。

	大きさ	自転	公転	色	重さ
水星	1/3	59 日	88 日	黒	0.05
金星	1	243 日	225 日	白	0.83
地球	1	1 日 (24 時間)	1 年 (365 日)		1
火星	1/2	1 月	1.9 年	赤	0.11
木星	11 倍	10 時間	12 年	青	318
土星	9 倍	10.6 時間	30 年	黄	95

太陽系は秒速 220 km の速さで銀河系を 2 億年かけて一周しています。これほど複雑な動きにも関わらず、確実に同じ動きを繰り返しています。

それは引力、重力によるものであると考えられており、それらの星の位置により、誕生した人間の運命に影響を与えるというものです。生まれた年の九星盤の中央に位置する星がその人の星になります。

■人間は生まれ年により、9 つの星に分類される

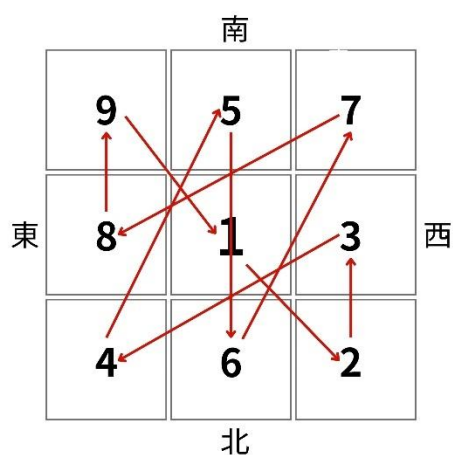
九星とは、太陽系を回る水星、金星、火星、木星、土星の 5 つの星の自転公転の影響により、その人の持つ性格や運勢が決められるという説で、9 つの星に分類されます。

九星の読み方

いっばくすいせい 一白水星	じこくどせい 二黒土星	さんぺきもくせい 三碧木星	しろくもくせい 四緑木星	ごおうどせい 五黄土星	ろっばくきんせい 六白金星
しちせききんせい 七赤金星	はっばくどせい 八白土星	きゅうしかせい 九紫火星			

○五行の生成とその順序

1. 太陽が陰陽に分離し、陰の中で特に冷たい部分が北に移動して水行を生じた。
 2. 次に、陽の中に特に熱い部分が南へ移動して火行を生じた。
 3. さらに残った陽気は、東に移動し風となって散って木行を生じた。
 4. 残った陰気が西に移動して金行を生じた。
 5. そして、四方の各行から余った気が中央に集まって土行が生じた。
- この動きをわかりやすくすると、次の順序になります。



中央から北西→西→北東→南→北→南西→東→南東→中央へと動きます。

毎日(日盤)、毎月(月盤)、毎年(年盤)と変化していますが、本書では年盤で見えています。

※なぜかは定かではありませんが、一般的にはこのように動いているとされています。

○直近3ヵ年の年盤図

9	5	7
8	1	3
4	6	2

令和8年

8	4	6
7	9	2
3	5	1

令和9年

7	3	5
6	8	1
2	4	9

令和10年

中央に位置している星が、その年に生まれた人の持つ星(本命星)となります。この図により、運勢の変化を見ることが出来ます。

☞このように9つの星が一定のリズムに沿って運行していることを知って下さい。

○自分の運勢を見る

まずは、自分の星を分類表から確認しましょう。生まれた年を2月3日で分けて当てはめ、その列が自分の星となります。

〈九星分類表〉

一白水星	二黒土星	三碧木星	四緑木星	五黄土星	六白金星	七赤金星	八白土星	九紫火星
20	19	18	17	16	15	14	13	昭 12
29	28	27	26	25	24	23	22	21
38	37	36	35	34	33	32	31	30
47	46	45	44	43	42	41	40	39
56	55	54	53	52	51	50	49	48
2	平成元年	63	62	61	60	59	58	57
11	10	9	8	7	6	5	4	3
20	19	18	17	16	15	14	13	12

○九宮を巡る自分の運勢を絵を見つめて悟りましょう

自分の星がわかったら、今年はどの位置にいるか確認しましょう。

前頁、直近3ヵ年の年盤図の通りです。

その位置の絵を見てみましょう。



一年間は春夏秋冬で変化し、一日は24時間で変化します。

☞自分の星の位置にある絵を見ておおよその運勢を悟って下さい。

○厄年とはいつのこと

運勢の絵を見てわかるように、北は蛇に巻かれており、身動きが取れない状態です。季節は冬で植物は育たない一年です。この年を厄年と言います。

母親の体内に居る時が中央で1歳、生まれた年が2歳…と数え年で見えていくと、1回目の厄年は6歳。次に15歳、24歳、33歳、42歳、51歳、60歳と9年毎に巡って来ることがわかんと思います。

この「冬に入った年」は大きな動きは避けたい一年です。

冬は大地が凍り付き、芽は出ない時だからです。

○各季節の見方

- ・ 東から南東は日の出る運勢の強い年です。
- ・ 中央に入った時は、充実する年です。
- ・ 北西から西は秋の実りの年です。
- ・ 北東は冬から春への変化の年です。鬼門とも生門とも言われます。
- ・ 夏は頂点に達するも、後半落ちていく年です。
- ・ 北は冬であり、新しいことは控え、基礎固めの年です。
- ・ 南西は運勢の強くなる変化前の準備の年です。

☞ このように各季節の特徴を捉えて下さい。



COLUMN ▶ 九星学は迷信か真実か？

私は20歳後半より、家相学に興味を持ち、9星の動きの不思議さにも注目してきました。この運勢図は、当たる人もいれば、外れる人もいるものと思います。

しかし、私自身の体験で言うと、厄年(北の位置、下中央)に入った年は、確実に災難の年でした。

3回目の24歳で起業時後3ヵ月入院しました。5回目の42歳には3ヵ月入院しました。6回目の51歳では会社を倒産しました。このようにあながち迷信とばかりは決めつけられないようです。










倒産を経験してからは、それまでの「努力、努力の人生」から離れ、今あるお金に満足。無理をしないで日々生きていることに感謝する生活を送るようになってからは、この運勢図は当てはまらなくなりました。ずっと平穏な日々が続いています。

例えば、北の厄年は基礎を作る年となりました。北東の鬼門の年はこれから生まれる生門となるように反対の結果が巡ってきました。

バイオリズムは上手に流れに乗ることにより、災難から逃れられるように思います。

❖ 次頁は九星学からの解説です。

〈九星の動きによる運気の吉凶と強弱〉

星順	位置	宮	季節	時刻	運氣	意味と見方
5	中央	中	土用	—	静観 	春夏秋冬の変わり目とは立春、立夏、立秋、立冬の「四立」前の18日間を言う。中心であり、強い勢いを持つが「八方塞り」でもある。前2年間の好調運を保ちながら、効果を上げる年。
6	北西	けん 乾	晩秋	いぬい 戌 亥	活動 	晩秋でもあり、冬に備えて貯蓄する年。同時に将来の基礎を作る年。「乾」は父を意味し今迄の成果が出る年。しかし、浮かれすぎると困難な状態に追い込まれることもあるので低姿勢で過ごす。
7	西	だ 兌	秋	とり 酉	喜悅 	五穀豊穡の秋、財運が強く成果が出る年となる。「兌」はお金を表し、経済的にも精神的にもゆとりが出てくる年。嬉しい事や楽しい事が目白押しで心躍る年となるが運氣は下降気味の為、注意。
8	北東	ごん 艮	初春	うしとら 丑 寅	変化 	初春、寒い冬から暖かい春へ向かう変化の年。鬼門とも生門とも言われる。「艮」は高くそびえる山のことでこれから良くなる事を表しているが、今日迄の生き方により、鬼門、つまり悪いへの変化、又生まれる変化となる年。
9	南	り 離	夏	うま 午	登頂 	夏は全てが頂点に達する年。しかし後半は下降する。「離」は次から次へと燃え広がる火を意味し、華やかさと明るさを得られる年。その反面、隠し事が表面化して困難を招くなど後半注意する年。
1	北	かん 坎	冬	ね 子	停滞 	冬は停滞、休養、衰退の年となる。しかしやがて来る春に備える年でもある。「坎」は上が欠けると書き、地面がくぼんだ状態。凶は人がくぼみに倒れた形を表す。厄年と言われ運勢が最も悪い年で自分自身を磨く年。
2	南西	こん 坤	初秋	ひつじさる 未 申	準備 	花が開く一歩手前の年で翌年から続く発展運の準備をする年となる。「坤」は母なる大地のことで木々に芽を咲かせることから無から有を生む力を表す。無理や焦りは控え、内容の充実を図り、飛躍に備える年。
3	東	しん 震	春	う 卯	発展 	春はすべてが明るく元気一杯になる年。今までの準備が実り発展する年。「震」は動を意味し、活気溢れる状態を表す。万事積極的に行動することで相応の成果が期待できる年。過去の行いが露見する年でもある。
4	東南	そん 巽	初夏	たつみ 辰 巳	順調 	さわやかな初夏、最もエネルギーに満ちてすべてが順調に運ぶ年。「巽」は風のことで、風はどこからでも入ってくることから最も良い年となる。決断力をもって臨む年であり、優柔不断の態度はチャンス逃がす。

○運勢のリズムに乗る

運勢には、一定のリズムがあることが理解出来たことと思います。

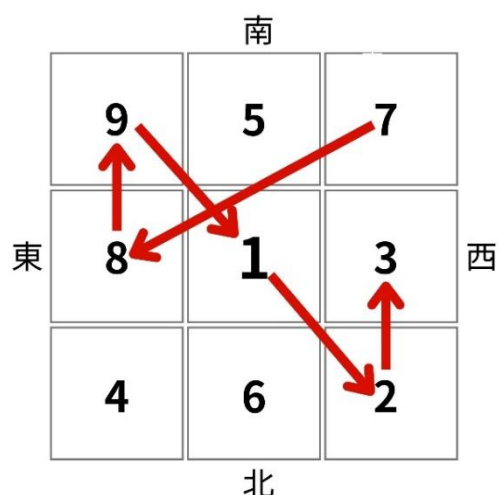
さらに、深く追求してみましょう。

北に入った停滞運から並べてみましょう。



よく見ると、準備の年から喜悅の年までの6年間は、最もリズムに乗った期間と言えます。

これを年齢に当てはめてみましょう。



人生のリズム

春	7～12 歳	芽生える
	16～21 歳	
夏	25～30 歳	伸びる
	34～39 歳	
秋	43～48 歳	実る
	52～57 歳	
冬	61～66 歳	譲る
	70～75 歳	

このように見ていくと、リズムに乗る年代は8回あるようです。この期間が活動期間、他の3年間は反省、充電期間とも言えそうです。

この運勢リズムを自分の人生計画に活用して下さい。



COLUMN ▶ 有限の人生にはリズムがある

私たちの人生は有限です。この現実を知ると一日たりとも無駄にしたくない、と思えてきます。

そして、短い人生にリズムがあり、このリズムに乗ることが人生の無駄を無くすように思われます。

例えば冬の時期と夏の時期は厳しい年です。

春は活発な時期です。秋は実りの時期です。

このようなリズムがあるとすれば、その時期に合わせた生き方をすることが幸福な生き方と思います。

■3. Where どこで 設立場所

設立場所が、決まっていれば悩むことはありませんが、新しく店舗なり、事務所を持つことになると、どこへ行ったら良いのか悩むものです。

参考までに九星学で考えてみましょう。

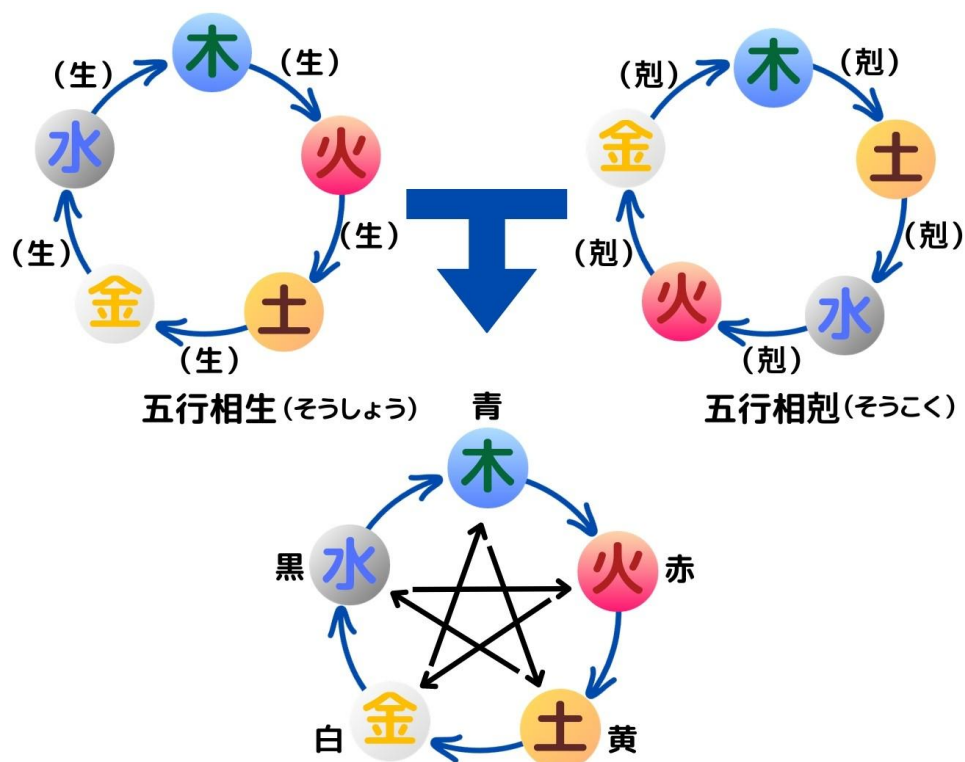
○九星方位学

前頁で9つの星に当てはめて、それぞれに運勢があることを説明しました。

ここでは、移転先と自分自身の持つ星との相性が良いかどうかを調べてみましょう。

○木火土金水には、それぞれ相性があります。

お互いの星には、相生、相剋という関係です。



・相生関係は、相手を生かす関係です。木生火、火生土、土生金、水生木と言い、木火土金水(もっかどごんすい)の順になります。

・相剋関係は、相手を剋す関係です。木剋土、土剋水、水剋火、火剋金、金剋木と言い、木土水火金の順になります。

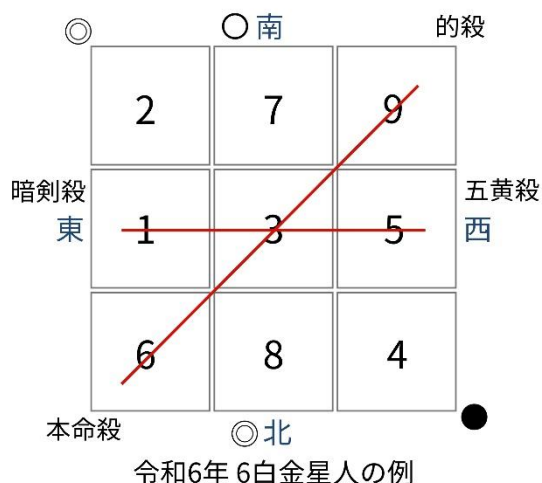
まずは、この関係を覚えて下さい。

○方位の見方

以上の五行の相生、相剋関係により、吉方位と凶方位を判断します。

ただし、四大凶殺[五黄、暗剣、本命、的殺]は除き、自分の星と相生関係に位置する方向が吉方位となります。

前述の運勢図を参考にして下さい。



例 6 白金星の場合

まず、四大凶殺方位を外します。

残った四方位を見ましょう。

北◎ 8 白土星だから吉(土生金)

南○ 7 赤金星だから吉(同じ金)

南東◎ 2 黒土星だから吉(土生金)

北西● 4 緑木星だから凶(金剋土)

このように吉方位は3方位となります。

○基点は現在の自宅です。家長または経営者の星で判断します。



COLUMN ▶ 目に見えない法則

私は 25 歳より、建設業に携わり、多くのリフォーム、新築を手掛け、さらに不動産業も経営。多くの方の土地購入のアドバイスをしてきました。

どうしても様々な相談を受けることになり、その答えを九星学、地相学、家相学、いわゆる「風水学」というものに求め、研究をしてきました。

方位については、迷信と決めつけられない、目に見えない法則があるように感じてきました。

参考にして頂ければと思います。



令和八年
二〇二六年

方位盤

丙午 一白水星

